

NPO法人再生医療推進センター平成27年度理事会議事録

日時：平成27年 5月 30日（土） 17時00分～18時55分

場所：大クマ眼科(函谷銚ビル4階；京都市下京区)

出席者：井上一知 大熊藍子 角昭一郎 饗庭一慶 藤井康雄 金澤正憲
川原美枝 山岸久一 守屋好文

欠席者：理事長への一任了解

理事(河瀬斌 木村正弥 古賀まり 小茂川邦彦 清野裕 星野順一
萩原明郎 日裏彰人 宮本正章 篠原茂生 徳永立子)

監事(大熊正人)

議事の経過の概要及び議決の結果

井上理事長より、定刻どおりに平成27年度理事会の開催が宣言され、以下の報告・審議が行われた。

① 平成26年度会計報告

川原理事より、平成27年3月31日現在の特定非営利活動の係る貸借対照表、ならびに平成26年4月1日から平成27年3月31日までの特定非営利活動に係る事業会計収支決算の報告があり、全会一致で承認された。

井上理事長より、平成26年度にご寄付を賜った方々が報告された。

法人様：株式会社桶谷製作所 桶谷正躬様

個人様：神田義次様、入江毅夫様・房子様、圓城正男様、上野芳子様、山本拓宏様

② 平成27年度予算案

川原理事、及び井上理事長より、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの、特定非営利活動に係る事業会計収支予算案の報告があり、全会一致で承認された。

③ 理事任期の件

井上理事長より、全理事の任期継続が全会一致で承認された。

・任期継続理事名

井上一知、大熊藍子、角昭一郎、饗庭一慶、金澤正憲、河瀬斌、川原美枝、木村正弥、古賀まり、小茂川邦彦、篠原茂生、清野裕、萩原明郎、日裏彰人、藤井康雄、星野順一、宮本正章、山岸久一、守屋好文、徳永立子

・監事

大熊正人

④ ホームページについて

ホームページ担当の乾氏より、現状報告がなされた。

再生医療相談室には、絶えず患者さんからの多くの切実な質問が寄せられている。

再生医療についての感情的な内容のメールなどの、純粋なメール以外のものがみられることもあるが、回答に対する真摯なお礼のメールをいただくことも多く、我々のボランティア活動に生きがいを感じる。

当 NPO 法人のサイトでは、一般市民に分かりやすい言葉で再生医療の現状と展望を伝えるとともに、苦しんでおられる方に少しでも新しい情報や夢を見出せるホームページにしたい。質問を受け付け、理解を深めることを重視している。

再生医療の分野は日々進歩しており、当サイトも進歩に追随していく必要がある。患者さんや一般市民の方々からのニーズが非常に多く、今後ともに、最大限の努力を払いたい。

⑤ 認定 N P O 法人申請後の状況と対策

平成 18 年に認定 N P O 法人取得の申請手続きを施行した。平成 18 年 10 月には大阪国税局から資格審査担当の方に 2 日間にわたり当 N P O の事務所にお越しいただき、帳簿や種々の資料を点検していただき結果、当 N P O 法人のボランティア活動の柱である患者さんや一般市民の方々を対象とする日常の幅広いホームページ活動（再生医療相談室等）や、多くの患者さんや一般市民の方々に参加していただいている無料の全国的な講演会活動等の公益性、及び、社会的貢献度は秀逸であり、認定 N P O 法人にふさわしい資格を有すると判断された。認定 N P O 法人取得に向けての懇切丁寧なアドバイスをいただいたが、ホームページには改正前の定款がそのまま掲載されていたことが判明し、その理由で認定法人の取得はなし得なかった。

川原理事に、認定法人取得申請手続きを引き続きご担当していただくことになり、全会一致で了承された。

川原理事が認定取得に真剣に尽力する決意を表明された。

認定 N P O 法人が承認されると、税金控除の対象となる寄付金収入の大幅な増加により、N P O のボランティア活動のより一層の充実や、より多くの患者さんや市民の方々への社会貢献の実現が可能になる。

⑥ 活動報告

(1) 講演会活動

福岡伸一氏は、昨年までニューヨークを拠点にしておられたが、平成 27 年度には帰国して、活動を再開される予定とお伺いしているので、本年度には講演会を実現すべく福岡伸一氏に依頼中である。

(2) ホームページ活動

井上理事長より、再生医療相談室における日常活動に関する報告がなされた。

再生医療相談室における日常業務に関しては、角担当理事に多大な御尽力をいただいている。ホームページ内の再生医療相談室の継続や過去の講演会の動画をアップすることなどが挙げられる。これらは多くの方々に「再生医療」への理解をより深めていただくことにつながるもの、と考えられる。また、ホームページ内の再生医

療相談室に関しては、各質問者の心情に対する心細やかな配慮をした角理事の真摯な回答に関して各理事から称賛の声があがった。

再生医療相談室における当NPO法人の日常活動は、インターネット上で非常に高い評価を得ており、今後もより普遍的な高い評価を得られていくものとい大いに期待される。

センター立ち上げ当初は、講演会が再生医療の啓発に多大な貢献をしたが、インターネット環境の変化に伴い、現在では、個々に対応できるホームページの果たす役割がより大きくなっている。今回、一般の方々に再生医療をより正しく理解して頂くため、ホームページと相談室の改良点について、活発な意見交換が行われた。

再生医療相談室における活動は、当NPOに課せられた最も重要な日常活動であり、今後のさらなる充実を図るべく最善を尽くしていく旨が報告された。

⑦ 役員推薦

役員改正時に際しては、より自発的、積極的な活動、連携体制が図れるような役員の構成をめざす旨、熱意あふれる行動力のある若い理事を導入していく旨、理事長から提言があり了承された。

⑧ 今後の活動方針、その他

- (1) 講演会活動とホームページ活動（再生医療相談室）は当NPO法人の重要な基本的活動であり、さらなる充実、発展をめざす。
- (2) 認定NPO法人の取得に向けて一致協力する。当NPO法人が認定法人の資格を取得すると、会員数の増加や、寄付金収入の大幅な増加が見込まれるので、NPO法人組織の構築をより機能的なものにしていくことができる。
- (3) NPOの各理事が密接に連携し、ホームページをより良いものにしていく。当ホームページが世界的規模で認知され、世界に貢献できるようになることを目指していく。

(4) 全国の患者さん団体・協会との連携、ネットワークの構築

当NPO法人は、再生医療を接点にして全国の個々の患者さん団体・協会との連携を深め、全国の患者さん団体・協会・関連団体などに十分なお理解、ご賛同を得た上で、当NPO法人の特別会員（年会費；無料）に入会していただき、患者さん団体・協会の相互連携を担う中枢組織としてとしてのネットワークを構築する役割を果たしていく。将来的には、患者さん団体・協会・関連団体と定期的な会合を持ち、私達の活動にご理解をいただける一般市民の方々とも連携しながら、国、地方自治体や企業、メディアに対する理解や支援を呼びかけていく。これらは当NPOが掲げる従来よりの重要な目標であり、本年度も目標達成に尽力する。2002年に井上一知理事長が再生医療学会を立ち上げた当初は、「再生医療」は、一般的市民の方々には全く認知されていない分野であった。現在では「再生医療」に関しては、メディアが大々

的に取り上げるなど、その認識は一般の方々にも幅広く浸透してきているし、すでに、実際に医療としての臨床応用が開始されつつある。学会の設立・その後の活動が一般の方々への「再生医療」の啓発、及び日本の再生医療の進歩への大きな一助となったことは明らかである。最近まで「再生医療」の文言を広告や診療名に使い、科学的根拠の極めて乏しい医療が自由診療としてごく限られた一部のクリニック等で行われようとしている実態があった。その対策として、厚生労働省は「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」を制定・施行したので、今後このような医療を実行しようとするようなもくろみはなくなるので、再生医療の健全な実用化にとって、大いに望ましいことである。一般市民の方々に再生医療に対して正しい知識と深い理解を持っていただけることが大切であり、そのためにも当NPO法人の果たす役割は大きい。

今回の理事会では再生医療相談室の主な回答者である角理事より、最近の質問内容の傾向として、専門性の高いものが増えてきている、との指摘があり、各理事からそれぞれの専門分野に基づく再生医療に対する考え、提案が提示され、我が国の現状、及び将来展望に関する活発な議論が行われた。

各理事から挙げた今後の活動に関する提案の主なものは、下記の通りである。

1、スマートフォン対応

今後、ホームページをスマートフォンからの閲覧がさらに増えていくであろう状況を鑑み、スマートフォンへの対応の早期実現を目指すこととす。

2、質問者や閲覧者がより深い理解を得るため、ホームページ内の更なる改良点

過去の質問・回答の蓄積を活かし、ホームページ内に各疾患別もしくは部位別の項目を設ける。また、各専門分野へ外部リンクをはり、一般の検索サイトにはない、専門性・信頼性の高い情報を提供する。外部リンクに関しては、大学のホームページ・各研究室の同意が必要であるが、実現できればホームページの公益性を高めることにもつながる。

3、過去の講演活動の振り返り

過去の講演会の情報等のアップと、講演して下さった各先生方の HP の案内やインタビューの掲載

これまでの活動に加え、これらを行っていくことにより、一般市民の方々が「再生医療」について正しい知識と理解を得た上で、各々の疑問・質問に真摯に答えていることにより、悩みを抱える方にとって将来に希望を見出せるNPOにしたい。

4、今回の理事会で、当 NPO 法人設立の原点、再生医療という言葉の起源、再生医療の現状と将来展望、及び最新情報について様々な対論が行われた。

この内容をまとめて、別途新たにホームページに発信する予定である。

上記の活動方針が本理事会で承認された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 27 年 5 月 30 日

議 長 井上 一知

理事人 大熊 藍子

同 角 昭一郎

日裏 彰人 饗庭 一慶 星野 順一

金澤 正憲 河瀬 斌 川原 美枝

木村 正弥 古賀 まり 小茂川 邦彦

清野 裕 宮本 正章 萩原 明郎

藤井 康雄 山岸 久一 篠原 茂生

守屋 好文 徳永 立子
監事 大熊 正人